

企業男女

山形市男女共同参画に関する企業の意識及び実態調査より

が抱える悩みとは？ いま男女共同参画社会を考える



山形市では「男女共同参画のまち山形」をめざしていろいろな取り組みを進めています。今回は山形市における男女共同参画に関する企業の意識・実態はどうなっているのか、山形市内の企業にお聞きしました。

■調査の概要

調査対象：市内にある従業員5人以上の企業500社を無作為抽出
 調査方法：郵送配付及び郵送回収
 調査期間：平成18年7月27日～8月31日 有効回収数：200 有効回収率：40.0%
 注 N=回答数。回答の構成比は、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って単一選択方式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならないことがある。回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択方式の質問においては、各設問の調査数を基礎として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。

企業側と働く人たちの意識 (アンケート自由記述より抜粋)

●昨日テレビで保育所が民営化されていくというドキュメントを見ました。これって子育て支援に逆行していませんか。0歳から小学校の間、親も子ども安心して過ごせる居場所作りには行政がしっかり立ち合うべきで、金一封だの手当てだのその場あたりの指標は無

●欠勤期間の賃金の補償を全額支援してもらいたい。(建設業)
 ●若夫婦は二人で一生懸命働いているのに生活できない。なぜか、行政の応援もあまりなく、もつと働くにしても安くあずかってくる保育料もありません。これで子どもはつくれませんよね！(建設業)
 ●一年間も休まれたら大変ですので、別の人を雇います。(サービス業)
 ●保育園に子どもを預けて働いている社員がいるのですが、熱が出た場合37度を超えると直ぐに電話が来て早退しなければならず、有休も限られており、すぐになくなってしまっし、仕事も途中で終わらなければならず、せめて保育園の方でももう少し子どもを見てもらえたらよいのと思っています。小学校に入るまでは当社では女性が多いので、社員に子どもが小さいうちは仕方がないけど頑張れと励ましながら若いお母さんを支援しているところです。(サービス業)

●子育て支援に関し望むこと
 ●欠勤期間の賃金の補償を全額支援してもらいたい。(建設業)
 ●若夫婦は二人で一生懸命働いているのに生活できない。なぜか、行政の応援もあまりなく、もつと働くにしても安くあずかってくる保育料もありません。これで子どもはつくれませんよね！(建設業)
 ●一年間も休まれたら大変ですので、別の人を雇います。(サービス業)
 ●保育園に子どもを預けて働いている社員がいるのですが、熱が出た場合37度を超えると直ぐに電話が来て早退しなければならず、有休も限られており、すぐになくなってしまっし、仕事も途中で終わらなければならず、せめて保育園の方でももう少し子どもを見てもらえたらよいのと思っています。小学校に入るまでは当社では女性が多いので、社員に子どもが小さいうちは仕方がないけど頑張れと励ましながら若いお母さんを支援しているところです。(サービス業)

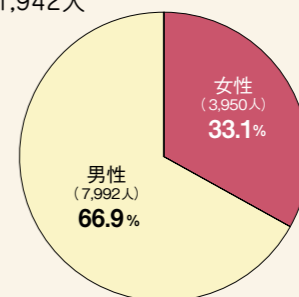
子育て支援に関し望むこと

雇用実態

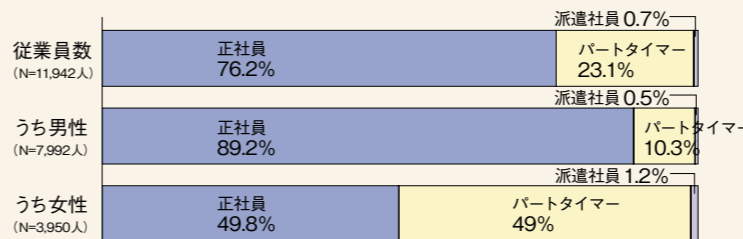
全従業員に占める女性従業員の割合は、33.1%になっています。雇用形態別に見ると、正社員は男性89.2%に対し女性は49.8%と約半数になっています。

全従業員に占める男性・女性従業員の割合

N=11,942人



●雇用人数(雇用形態別)



●改善の取り組み状況

N=200社

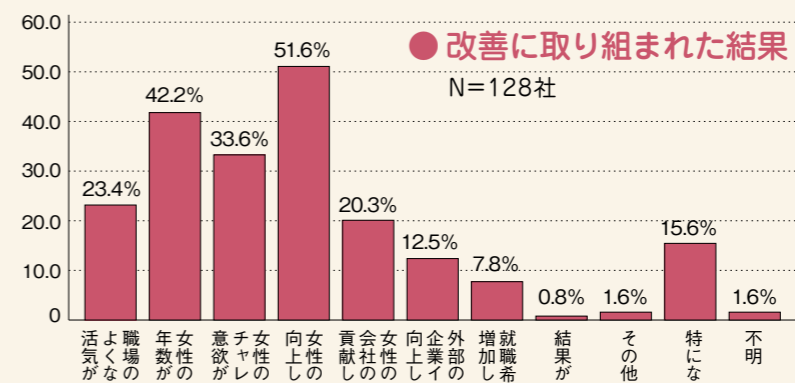
	行っている	行っていない 今後行う予定有	行っていない 今後行う予定無	不明
女性がいない又は少ない職種で女性の募集・採用を積極的に行う	29.5%	15.5%	39.0%	16.0%
女性がいない又は少ない職種や職務に積極的に女性を配置する	25.0%	18.5%	39.0%	17.5%
女性の管理職を積極的に登用する	22.0%	22.5%	40.5%	15.0%
性別により評価することがないよう人事評価基準等を明確にする	47.0%	19.0%	22.0%	12.0%
仕事と家庭の両立ができるよう労働時間や配置・転勤等を配慮する	42.5%	18.5%	25.5%	13.5%
男女の役割分担意識に基づく慣行の見直し等職場環境・風土を改善する	36.0%	22.0%	25.0%	17.0%
その他	1.5%	12.0%	86.5%	

男女共同参画の職場とするための企業の取り組み

男女共同参画の職場とするための取り組みを「行っている」「企業では、「性別により評価することがないよう人事評価等を明確にする」が47%と最も多く、「女性の就業年数が延びた」となっています。

●改善に取り組みされた結果

N=128社



- 能力的にも肉体的にも両立出来る人材がいれば取り組み方を考えてみる事も出来る。(建設業)
- 有限会社としてみると、家内工業的なもので、今後景気がよくなればともかく、今のところ現状維持がやっとなので、何も考えられない。(サービス業)

企業における男女共同参画推進に関する意見・要望など

意味と思われる。子どもは親が側にいてあげる、昔の教育が一番と私は思う。(その他)

●私自身(女性なのに)女性より男性の方がなんとなく信頼できるという先入観があります。男性はもちろんですが女性自身もまだまだ自覚が足りないと思います。(建設業)

●男性女性もともとちがう個性をもっている者です。お互いに良き所を伸ばし、お互いに尊敬していれば良いのではないのでしょうか。相手のない所を補い合えば良い環境になると思います。幼少の頃からの道徳的な教育をもっと学校、家庭でも行うべきだと思います。男女同じ立場・平等という考えは、個

人的にはあまり好きではありません。なんでも同じようにするという無理な事を考えるからこそ歪みが生まれているような気が致します。男は父親として、女は母親として、しっかりと役割を果たすべきと思います。企業は企業として男女共同参画の考えをピアーアルしてほしいと思います。(卸売・小売業)

●家庭における女性の家事役割の比率が男性に比べて大きいので、一人一人の男性の意識そのものを変えていかなければ、男女共同参画そのものが家庭の中ですらなりたないと思う。三世帯同居が多い山形県では、嫁は家事一切をするものという考えも併せて変えていくべきと思う。(その他)

●企業には、短時間労働や代替要員配置では対応できない職種も多い。有能な人間ほど家事、子育てと両立が難しくなる。主婦(主夫)の仕事を手間にかかると社会がおかしくなっている。会社より家庭が大事。出産以外は男親でもできるのだから、どちらか適した方(稼げる方)が外で働き、不足分を減税や手当で支援する体制を目指したい。「仕事がしたい」と育児を二の次にするのは親として無責任。共同参画とは、より優れた(適した)人材を男女問わず選んで活用することだと思ふ。(その他)

調査にご協力いただきありがとうございます。貴重なご意見・調査結果を今後の男女共同参画施策に生かしていきます。

